

生活応援だより～球根の植え方

初心者でも育てやすい球根に挑戦しましょう

庭に植える

花壇等に地植えする場合

1. 土を耕しましょう

あらかじめ30cm～50cmほど耕しておきます。腐葉土や完熟堆肥を適度に混ぜ、1㎡に100gくらい苦土石灰をまいて良く耕しておきます。植えつけ前に緩効性化成肥料を1㎡に100gほど混ぜてから植えつけましょう。保水性、排水性が良く、有機質がたっぷり含まれていればOK。

2. 植え方

庭植えの場合、ある程度間隔を空けてのびのび育てましょう(球根3～5個分)。広いスペースがあるなら、他の植物との混植もステキです。深さは球根によって違いますが、だいたい球根大きさの2～4倍です。袋入りの場合は植え付けの深さも書いてありますのでご参考下さい。植え付けが終了したら、十分に水を与えます。寒冷地では冬に凍らないよう、またユリ類などは地温が高くなるのを嫌う為、藁や腐葉土などでマルチングするのも良いでしょう。

花壇全体を掘り上げて植え込む



球根の3倍の深さに花壇の土を掘り上げる。

移植ゴテ穴をあけて植え込む方法



球根の3個分の間隔で植え、深さも3個分の深さに植える。



ロックガーデンなど他の花が植えてある場合この方法がよい。

3. 植え付け後の管理

水やりは基本的に自然の雨に任せます。ただ乾燥した日が何日も続くようなら、時々様子を見て晴れた日の午前中に水やりをします。翌年葉が伸びてきたら、追肥に粒状の化成肥料を適量まいておきましょう。

4. 病害虫

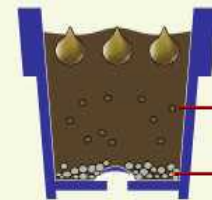
春先からアブラムシが発生しやすくなります。害虫を介してウイルス病にかかるので、発生する前に殺菌剤をスプレーし、オルトランなど顆粒状の浸透性薬剤をまいておきましょう。

鉢に植える

花壇等に地植えする場合

鉢植えの場合、あまり間隔を空けない方が花が咲いたとき見栄えがします(空けても球根1個分くらい)。また球根の向きをそろえると、葉の出方が同一方向になるので、よりギッシリ植えることができます。植える深さは球根によって違い(球根大きさの2～4倍)、袋入りの場合は植え付けの深さも書いてありますのでご参考下さい。種類によっては浅く植えることもできます(下図参照)。植え付けが終了したら、十分に水を与えます。

鉢植の方法

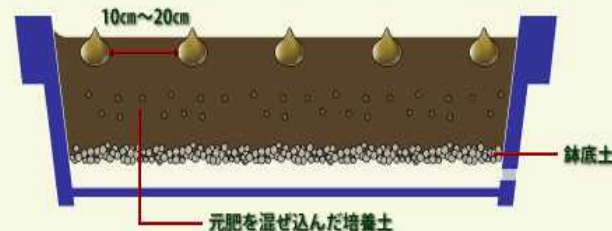


元肥を混ぜ込んだ培養土

鉢底土

5号鉢に3球根の先が少し出るくらいに浅く植える。

プランター植え



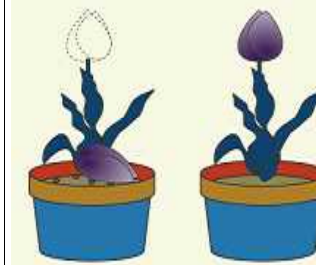
10cm～20cm

元肥を混ぜ込んだ培養土

鉢底土

元肥を使用すると発根に合わせて養分を吸収でき、根付きも良く、成長が早い。

追肥



お礼肥

来年

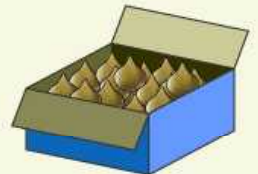
発芽期に鉢元に与える。
開花直後の球根にお礼肥を与えて球根を大きく育てて下さい。翌年も花を咲かせます。

保存方法

吊るして貯蔵



もみ殻貯蔵法



チューリップ、グラジオラスなどは野菜ネットなどに入れて吊るしておく。
底に10cmほどもみ殻、オガクズなどを入れる。いちばん上にもみ殻を10cm入れる。

地植え深さ目安

